

令和2年度

事業報告書

特定非営利活動法人シニア総合研究協会

1 事業の成果

- ☆ 新型コロナウイルス感染症予防の為、ゆうゆう館は臨時休館（4月～6月中旬）となり、その後大幅な人数制限を行い再開されました。しかし、自粛される団体の休講や高齢者の参加減少により、施設利用者も前年の46%でした。
- ☆ サロン開催回数206回は対前年比270回も少なくなり、参加者も大幅に減少しました。このような状況でも、黒字決算となりました。
- ☆ 地域社会等との交流会は、コロナの為行われませんでした。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 8,845】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
地域社会参加に関する啓発を通じた社会教育事業	地域社会への実質的新規参加者に対して「地域への難着陸」の意識の理解を促進し、地域社会としての充実に向けて活動することへの動機付けをはかる。	中止					0
社会活動に関する情報提供事業	地域への理解を深め、地域での仲間作りを成功させるための学習機会としての様々な場を開設・運営する。	6月～3月 随時	区立 ゆうゆう 荻窪東館他	3人	杉並区の退職者・転入者	97人	50
新しい役割・課題の発見と確定にともなう研究・学習機会提供事業	自分自身の役割・課題を絞り込み、それぞれの目的に添った団体の結成を意図する人への支援を念頭に置きながら多彩なテーマのサロンを開設・設営する。2タイプあり、一つはNPOMメンバー自身が講師やファシリテーターを担当するもの、もう一つは、専門講師を招聘して運営するものである。	6月～3月	区立 ゆうゆう 荻窪東館他	38人	杉並区の退職者・転入者	1,529人	1,087
社会参加に関する普及啓発事業	積極的に社会参加しようとする人のための呼びかけを行うために、ホームページやチラシ配布・DM郵送など。	4月～3月	区立 ゆうゆう 荻窪東館	7人	上記事業参加者を含める	1,626人	565
行政の施設の運営管理受託事業	杉並区立ゆうゆう荻窪東館の管理運営。	4月～3月	区立 ゆうゆう 荻窪東館	7人	施設利用者	7,427人	8,275